

2016年
No.103

発行者

社会福祉法人 健康の森学園

発行責任者 施設長 真鍋 衛

〒718-0313

岡山県新見市哲多町大野2034-5

☎0867-96-2995 ☎0867-96-2998

http://fukukenmori.com

すずらん



哲西栗

理事長 岡田 壽

平成三年四月に健康の森学園がこの地に開園してから九二十五 years が経過しました。本学園は、「大地育人」の理念のもとに、豊かな自然の中で鶏や和牛の飼育、野菜、米、花、シイタケなどの栽培、薪や木炭の製造、農産物の加工などの作業活動を取り入れた教育訓練をととして、園生のより確かな自立と社会参加を図るよう取り組んできました。

障害者支援施設でも、平成二十二年のいわゆる新体系への移行による訓練組織の変更はありましたが、一貫して「農」にかかわる活動にこだわってきました。先般は、JA阿新の農産物直売所設立二十周年記念大会において高額出荷者として感謝状をいただきましたし、乾椎茸が昨年の全農品評会で全国二位に入るなど、「いい仕事」ができるま

でなってきました。

一方では、開園二十五年という節目を機に、作業活動の更なる発展充実を図るための見直しも進めております。その一つとして、果樹園の栽培品目について検討を行い、作業内容や収益性等から柿や桃に替えて「幻の栗」とも言われている「哲西栗」を導入することにしました。（平成九年から哲西地域で栽培された中国栗を「哲西栗」の名称で販売）

哲西栗は、この地域の農業の先覚者でその半生を栗の研究・改良に尽くされた羽場鶴三氏（明治二十三年〜昭和四十八年）により生み出されたものです。「哲西の先覚者 羽場鶴三・小坂弘」（岡山文庫 日本文教出版株式会社発行）によりすると、羽場鶴三氏は、天津甘栗のような甘い栗を栽培したいと研究を重ねる中で、昭和十一年に高知県から取り寄せた「傍土三六〇号」という中国栗の栽培に心血を注がれ、今日の哲西栗に育ててこられたということです。

この栗は、大粒で渋皮がはがれやすく甘味が強いのが特徴で需要も多いのですが、近年は栽培農家の高齢化等により栽培面積、出荷量とも減少しているとのことです。本学園では、哲西栗生産組合や県農林水産総合センター森林研究所、県備中県民局新見地域森林課、新見市地域おこし協力隊などの支援も受けながら、植え付けた哲西栗の苗を大切に育て、五年後には一定量の収穫ができるよう栽培管理を継続していきます。

この取組が、本学園の作業種目の充実と共に、いささかでも地域の農業や観光に貢献できることを願っております。

マラソン大会

12月4日(金)に第25回マラソン大会があり、園生と外部団体の総勢132名の参加によって盛大に開催されました。参加した利用者の皆さんは白い息を吐きながら岡田学園長のピストルの合図で勢いよくスタートしていき、沿道の応援をもらいゴールを目指して走っていきましました。昼食時にはアトラクションとして100万回のサアーたいへん事業所の川上理事長と利用者の重広さんが備中神楽「大黒の舞」を披露してくださいました。



障害者週間啓発活動

12月7日に「障害者週間」の普及啓発活動(新見市自立支援協議会主催)で利用者の皆さんがサンパーク新見・新見プラザの2店舗に分かれてリーフレット



や市内各施設の製品の入った袋を配布しました。また、サンパーク新見では、福祉にこにこ市も開かれ各施設で作られた農産物、製品等を販売しました。健康の森の野菜もたくさん売れて良かったです。

餅つきに参加

12月11日「福祉ワークセンター阿新」で恒例の餅つき大会が開催され健康の森からも3名の利用者の方が参加しました。少し風が強く寒い日でしたが周りのかけ声で「よいしょ!」「よいしょ!」と杵を振り上げてお餅をつきました。出来あがったお餅は、さっそく参加した皆さんでお雑煮やあんこ餅を作つて食べました。



とても美味しかったです。福祉ワークセンター阿新のみなさんありがとうございました。



クリスマス会

12月19日利用者の皆さんが中心となって準備したクリスマス会が行われました。クリスマスソング「赤鼻のトナカイ」のアカペラによる合唱でプログラムがスタート。音楽演劇サークルメンバーによる「あわてんぼうのサンタクロース」が発表されたり、食事しながら有志によるものまね、マジックショー、クイズ、ボイスパーカッション、バルーンアートなど日ごろの練習の成果や即興での出し物が披露され大変盛り上がりしました。



成人式

1月9日成人式が行われ、新成人3名が来賓の方や利用者・職員などに祝福され、大人の仲間入りをしました。最初に真鍋施設長が「二十歳を迎え自分の目標を決めて取り組んでいきましょう。」と祝辞を述べ、続いて利用者の代表として昨年成人を迎えた榎本さんが「どんなことにもくじけずに、乗り越えてください。」とことばを贈り、新成人をの岡本尚大さんが「両親や周りの方々への感謝の気持ちと早く社会の一員となれるように日々努力していきます。」と誓いの言葉を述べました。保護者会からの記念品も受け取り、新成人として気持ちを新たにしました。



健康の森学園支援学校PTA研修部座談会

1月12日岡山県健康の森学園支援学校PTA研修部が主催する座談会に、相談支援事業所の藤野相談支援専門員が講師として参加しました。今回は「福祉サービスや福祉制度について分らないことを聞こう」をテーマに冬休みをどうすごしたか、留守番が一人で行えるか、余暇をどう過ごすか、親亡きあとはなど、それぞれの家庭の状況に合せた福祉の使い方を説明し、確認しました。



果樹の剪定

果樹園の剪定の時期になりました。キウイフルーツとピーオーネの剪定を利用者のみなさんとなりました。ピーオーネの結果枝の剪定は、一芽を基本としました。利用者の皆さんにもやり方を説明して作業していただきました。初めてのことでしたが真剣に取り組んでいました。たくさんさんの果実が実るよう願っています。



世話人食事研修会

2月10日毎月行っているグループホーム世話人連絡会において研修を行いました。講師として本学園の藤井栄養教諭にお願いしてグループホームの生活において最も重要な食事について話をいただきました。今回は減塩についてのポイントや献立の立て方、また、塩分の過剰摂取による生活習慣病との関係などパワーポイントを使用しながら説明をしていただきました。



学習発表会

2月13日(土)に第25回学習発表会が開催されました。今年の施設のテーマは、「施設ルーティン!!」ラグビー日本代表の五朗丸歩選手がきっかけで耳にすることが増えたこの言葉。各作業班に分かれて利用者の皆さん、一人ひとりが担当している仕事や日常のルーティンをスライド、寸劇、グループ発表を通じて紹介しました。保護者の方や来賓の方をはじめ、支援学校の生徒の皆さんや教職員の方々に前に練習を重ねてきたことを元氣いっぱい表現し、たくさん拍手を頂くことができました。



施設サービスアンケート調査結果 平成27年度

対象者(施設利用者42名、保護者22名 合計64名)

	満足	まあまあ満足	どちらでもない	いくらか満足	不満	無記入	合計
建具・設備に支障ありませんか	37	9	10	3	2	3	64
職員の態度はどうでしたか	33	21	4	1	3	2	64
職員の言葉づかいはどうでしたか	32	21	6	1	3	1	64
職員の支援技術は適切ですか	35	18	8	1	0	2	64
職員の対応が早いと思われましたか	28	20	9	2	3	2	64
食事の内容はいかがでしたか	38	12	6	4	1	2	64
専門的な助言・援助が得られましたか	29	15	17	0	0	3	64
気兼ねなく相談ができましたか	31	21	7	2	1	2	64
期待通りのサービスになっていましたか	24	17	17	3	1	2	64
約束した支援が実行されていますか	34	13	12	1	3	1	64
非常時の対応などに不安はありませんか	33	13	12	3	2	1	64
必要な情報について伝達は適切でしたか	33	11	15	1	2	2	64
利用を継続したいと思われますか	利用したい 37		分らない 17		無記入 10		64

編集後記

この春もまたひとり、就労移行支援事業の訓練を終え、市内の企業に就職する森の仲間がいます。新しい環境の中で、これから奮闘する仲間を思い浮かべ、心からのエールを送りたいです。我が家にもひとり、小学校の新1年生になる娘がいます。新しい世界へ飛び込むことに息を弾ませる姿に、小さな体から沢山の勇気をもらっています。桜の咲く頃、健康の森学園にも新しい仲間が集います。ひとりひとり、仲間同士が支え合える舞台を用意できるよう日々の業務に取り組んでいきます。(n・m)

JA阿新主催 園芸生産者大会

2月9日平成27年度JA阿新主催園芸生産者大会がまなび広場新見で開催され、林産班の乾燥椎茸が2部門において今年も受賞しました。乾燥椎茸品質の部にて新見市長賞(最優秀賞)と岡山県農業協同組合中央会長賞(優秀賞)を受賞し真鍋施設長が出席して表彰を受けました。



お知らせ

前回は紹介しましたが、施設の新しいホームページが完成しました。ブログもあり、行事や日々の活動の様子などを掲載しています。携帯電話からも見る事が出来ますので、「健康の森学園」で検索して下さい。

<http://fukukenmori.com>